

※A課題は半切が横可能になりました。ご活用ください。

- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か横・角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

大雪の後の二月に足立美術館に行ってきました。自然の庭を絵にし窓枠をそのまま額縁に見たてたり、床の間の壁をくりぬいて生の掛軸にするという発想に驚かされます。四季ごとに庭の様子は変わりますが、雪景色の風景は別格でした。自然と人の作り出す美の融合。まさに「庭園もまた一幅の絵画である」。まだの方はぜひ一度訪れてみてください。今回はB課題に誤字がありました。写真掲載できなくて、残念でした。今一度提出前に確認してください。

現代書部 次号課題

- A 月清き馬酔木の花の杜を過ぎ  
春日神社の鳥居に出でぬ
- B 命二つの中に生たる桜哉

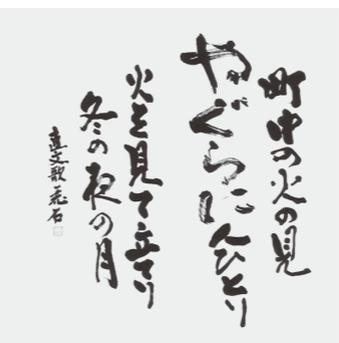
(岡籠 歌)  
(松尾芭蕉 句)

優秀作品

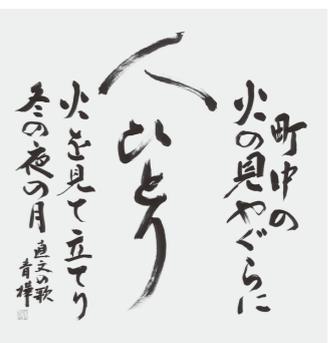
〈A課題の部〉



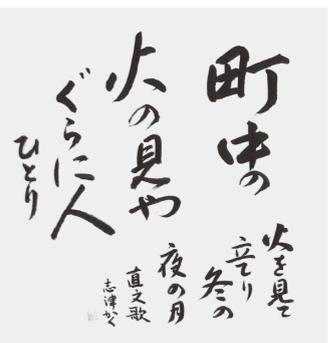
八幡翠柳 「の」の字の空間が生きている。最後の「の」は一考。



福島麗石 「やぐらに」の渴筆が利いている。



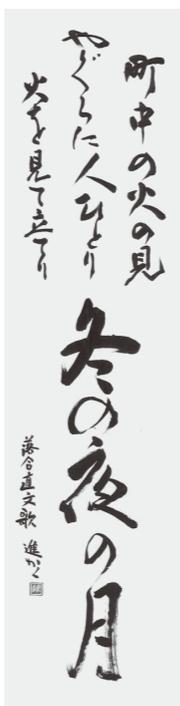
藤原青樺 伸びやかな「人ひとり」が良い。他の字にも動きを。



近松志津子 上部と下部のバランスが絶妙。



西嶋青暎 大小つけた仮名に存在感あり。



伊藤進 堂々の「冬の夜の月」。小書きにも変化を。



池田春水 派手さはないが味わい深い作。「火を見」は異質。

〈B課題の部〉



小倉 榮 せっかくの空間を落款が邪魔をした、残念。



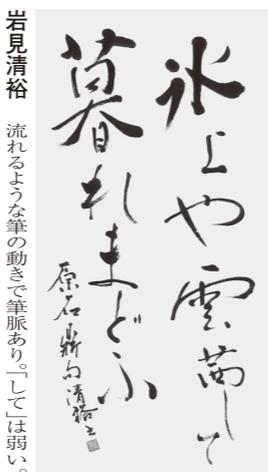
橋本八重子 行の頭の位置を変えらることで動きが出た。



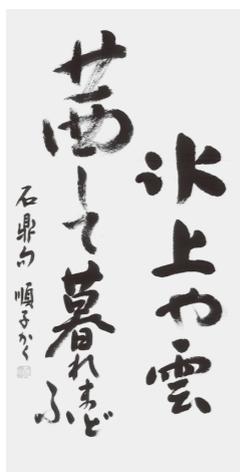
松本朋子 どっしりと構えた「雲」が生彩を放つ。



中村華峰 勢いのある「雲茜」に自信を感じてる。



岩見清裕 流れるような筆の動きで筆脈あり。しは弱い。



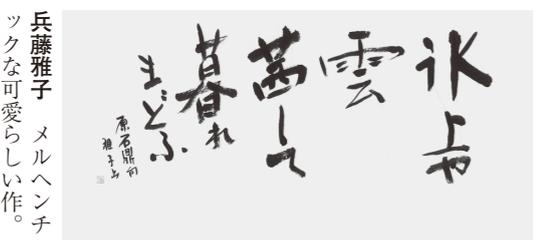
中岡順子 気取りがなく穏やかな作。



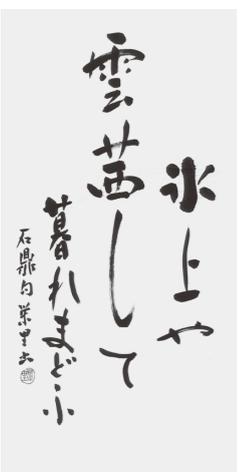
松崎洗翠 肩の力が抜けた清々しい作。



濱田麗芳 ダイナミックな筆使い。奥行きがあり見事。



兵藤雅子 メルヘンチックな可愛らしい作。



奥谷栄里 シンプルな表現で爽やか。「し」は長すぎる。